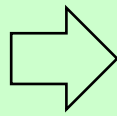


農業用水の安定供給による高収益作物（施設野菜）の導入

経営体の概要

事業実施後（就農当初）
基幹作物：
（株出）さとうきび 100a
経営面積：100a



事業実施後

基幹作物：
（施設）モロヘイヤ、ゴーヤー、きゅうり：30a
（露地）キャベツ 20a、（株出）さとうきび100a
経営面積：150a

取組の経緯と経営転換のポイント等

本経営体は、平成25年に親から経営を受け継ぎ就農している。

就農当時は、さとうきび（株出）栽培が主であったが、既に畑かん施設が整備され安定した農業用水が確保できており、計画的な作付が可能であることから、モロヘイヤ、ゴーヤー、きゅうり、キャベツの栽培に取り組むこととした。

また、ＪＡ出荷が大半であるものの、糸満市内のファーマーズマーケットにも出荷している。

営農改善のポイント

①作物の変化

かん水施設の整備により用水確保と規模拡大が可能になったことから、市場での野菜の需給動向も参考に４種類の野菜栽培を新たに開始した。

②栽培技術の向上

安定した農業用水が確保されたことから、計画的なかん水を行うことで、野菜の作付回数を２回に増加するとができおり、長期収穫が可能となった。

③省力化・低コスト化

散水施設（マイクロスプリンクラー、チューブ）を利用し、液肥と混合してかん水することで、粒剤散布の散布回数が削減され、散布作業の省力化を図っている。

また、かん水に限らず連作障害の対策としてほ場にかん水後ビニールで被覆し、太陽熱処理により土壌消毒を行いコスト削減と環境保全に努めている。

④流通・販売の工夫

補助事業により集出荷場を整備し、箱詰めや選別等の集出荷体制を強化した。

また、ＪＡ出荷が大半であるものの、糸満市内のファーマーズマーケットにも出荷している。



モロヘイヤの栽培状況



キャベツの栽培状況

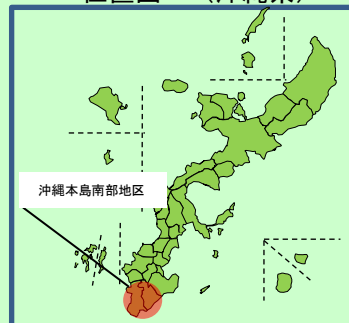


集出荷施設の整備状況

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：糸満市、八重瀬町
受益面積：1,352ha
事業期間：平成4年度～平成17年度
事業目的：畑地かんがい
主要工事：地下ダム２箇所（総貯水量385万㎡）
ファームポンド 3箇所
揚水機場 2箇所
用水路 42km

位置図（沖縄県）



<局問い合わせ先>
沖縄総合事務局
農村振興課
電話：098-866-1652

（令和３年調査時点）